

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月13日

上場会社名 株式会社ニチダイ  
 コード番号 6467 URL <http://www.nichidai.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古屋 元伸  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 藤本 光洋  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 JQ

TEL 0774-62-3481

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	8,771	—	580	—	457	—	459	—
20年3月期第3四半期	9,271	3.8	841	1.2	788	2.8	427	△0.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	50.76	—
20年3月期第3四半期	47.28	47.24

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	12,894	7,188	53.4	760.41
20年3月期	11,738	6,738	56.5	733.33

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 6,882百万円 20年3月期 6,637百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
21年3月期	—	8.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,330	△17.9	230	△80.9	80	△92.5	160	△62.1	17.68

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 2社(社名 ニチダイプレジジョン株式会社) 除外 1社(社名 NICHIDAI(THAILAND)LTD.)

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】5. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】5. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	9,053,300株	20年3月期	9,053,300株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	1,643株	20年3月期	1,504株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	9,051,696株	20年3月期第3四半期	9,049,473株

## ※ 業績予想の適正な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年11月4日に公表いたしました連結業績予想のうち、通期について本資料において修正しております。詳細は、平成21年2月13日に別途公表いたしました「特別損失の計上、平成21年3月期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間における当社の主要顧客業界である国内自動車産業では、米国の金融危機に端を発した景気後退の影響が世界各地に拡大したことにより、自動車販売台数が急減し、生産調整の対応に迫られております。

このような状況のなか、ネットシェイプ事業では、国内における自動車部品生産の減少に伴い、関東、中部、関西の国内各地域において金型の売上が減少するとともに、精密鍛造品の生産も減少いたしました。海外では、アジア地区における、タイ、インド向けの金型売上は増加したものの、韓国、中国及び北米地区で売上が停滞しました。以上の結果、ネットシェイプ事業の売上高は15億7千7百万円となりました。

また、アッセンブリ事業においては、V Gターボチャージャー部品の主力納入先となる欧州自動車市場の販売不振に伴う生産調整の影響により、売上高は5億6千5百万円となりました。

フィルタ事業においては、THAI SINTERED MESH CO., LTD. (以下「TSM」という。)における石油掘削用フィルターの生産がほぼ計画どおりに推移し、海外向け売上高が増加したことから、売上高は3億7千4百万円となりました。

以上の結果、売上高は25億1千7百万円となりました。

損益面においては、フィルタ事業において昨年3月に本格稼働を開始したTSMの貢献により収益増となりましたが、世界的な自動車産業の停滞によるネットシェイプ事業及びアッセンブリ事業の売上高の減少により、営業利益1億1千万円となりました。また、円高の影響により為替差損を計上したことから、経常利益1千6百万円となりました。

また、米国子会社NICHIDAI AMERICA CORPORATION (以下「NAC」という。)の譲渡が決定したことにより、特別損失1億7千2百万円(子会社整理損)を計上したことから、税金等調整前四半期純損失は2億2千4百万円となりましたが、当社は過年度に有税処理をしていたNACにおける欠損金等に係る繰延税金資産を計上したことから、四半期純利益は2億9千2百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ11億5千6百万円増加し128億9千4百万円となりました。

流動資産におきましては64億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億1百万円の増加となりました。これは、現金及び預金が6億1千8百万円増加、受取手形及び売掛金が1億7千5百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産におきましては64億7千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億6千2百万円増加しましたが、これは、NICHIDAI (THAILAND) LTD. (以下「NDT」という。)の工場用地取得、工場建設によるものであります。

負債におきましては57億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億5百万円の増加となりました。これは、NDTの設立、工場用地取得、工場建設等により、有利子負債が前連結会計年度末に比べ13億7千万円増加したこと等によるものであります。

純資産は71億8千8百万円となり、自己資本比率は53.4%となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ6億1千8百万円増加し12億7千6百万円となりました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は2千2百万円となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益1億5千2百万円、減価償却費4億7千4百万円、減損損失8千3百万円、子会社整理損1億7千2百万円より売上債権の増加額1億8千4百万円、仕入債務の減少額3億3千8百万円、法人税等の支払額3億9千3百万円を差し引いた結果によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は6億7百万円となりました。これは、主にNDTの工場用地の取得、工場建設及び国内生産拠点の生産設備の増強など、有形固定資産の取得による支出7億9千1百万円より、子会社株式の売却による収入1億8千2百万円を差し引いた結果によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は12億6千7百万円となりました。これは、主に短期借入金の増加額7億6千6百万円、長期借入れによる収入12億1千6百万円より長期借入金の返済による支出5億5千3百万円、配当金の支払額1億4千1百万円を差し引いた結果によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

詳細につきましては、平成21年2月13日に別途公表いたしました「特別損失の計上、平成21年3月期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。なお、第4四半期の為替レートは、1ドル90円を想定しております。

平成21年3月期の連結業績予想（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想（A） （平成20年11月4日発表）	11,870	850	730	300
今回修正予想（B）	10,330	230	80	160
増減額（B－A）	△1,540	△620	△650	△140
増減率（％）	△13.0	△72.9	△89.0	△46.7
前期実績（平成20年3月期）	12,577	1,205	1,073	422

（参考）平成21年3月期の個別業績予想（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想（A） （平成20年11月4日発表）	6,970	650	550	150
今回修正予想（B）	5,900	130	30	150
増減額（B－A）	△1,070	△520	△520	0
増減率（％）	△15.4	△80.0	△94.5	0.0

（注）平成20年4月1日付でアッセンブリ部門を分社したため、前期実績は記載しておりません。

### 4. 当期の配当

今般、平成20年度通期の当期連結純利益及び当期個別純利益の予想額を修正いたしましたので、平成20年度の期末配当の予想額を次のとおり修正いたします。

詳細につきましては、平成21年2月13日に別途公表いたしました「特別損失の計上、平成21年3月期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 （平成20年11月4日）	（実績） 8.00	8.00	16.00
今回修正予想	（実績） 8.00	0.00	8.00

### 5. その他

#### （1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

平成20年4月1日付で当社を分割会社とし、アッセンブリ事業を新設会社とする分社型の新設分割により、ニチダイプレジジョン株式会社を設立いたしました。また、ニチダイプレジジョン株式会社は、平成20年4月2日付で100%出資のNICHIDAI (THAILAND) LTD. (以下「NDT」という。) を設立したため、ニチダイプレジジョン株式会社とNDTの2社を連結の範囲に含めております。

#### （2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

#### （3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- ② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については原価法から原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）に変更しております。これにより、当四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ47,499千円減少しております。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。
- ③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を、第1四半期連結会計期間から適用しておりますが、連結決算上必要な修正は該当ありませんでした。
- ④ 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以降開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。
- なお、当第3四半期連結累計期間では通常の売買取引に係るリース取引はございません。
- また、リース取引開始日がリース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、前連結会計年度に引き続き、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を適用しております。

#### （4）重要な後発事象

当社は、平成21年2月13日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるNICHIDAI AMERICA CORPORATION（以下「NAC」という。）の全株式を譲渡することを決議いたしました。

##### ① NAC株式譲渡の理由

当社は、米国の日系・米系自動車部品メーカー向け金型の製造、販売を目的として、平成13年4月に米国ケンタッキー州においてNACを設立いたしました。昨今の景況悪化の影響により、北米地区における金型需要が急激に変動し、受注が大幅に減少したこと等から、生産拠点の日本への集約として米国工場を閉鎖することを、平成20年12月17日開催の取締役会において決議いたしました。

その後、同工場の不動産及び機械設備の有効活用等を検討してまいりましたが、韓国の取引先であるNARE CORPORATIONからNACの譲受けの申し出があり、全株式を譲渡する方法によりNACを譲渡することを平成21年2月13日開催の取締役会において決議いたしました。

##### ② 譲渡する相手会社の概要

商号	NARE CORPORATION
代表者	PRESIDENT In-Seob Shim
本店所在地	大韓民国 慶尚南道
主な事業内容	機械系商社
当社との関係	韓国における取引先

##### ③ 譲渡する事業の内容、規模

	平成19年12月期	平成20年12月期
売上高	622,046 千円	533,735 千円
経常損失	64,769 千円	90,281 千円
当期損失	64,800 千円	90,363 千円
総資産	656,363 千円	560,818 千円
純資産	332,813 千円	252,523 千円

##### ④ 譲渡する資産・負債の額

資産：不動産及び機械設備等 2,500千ドル（日本円：2億2千5百万円）

##### ⑤ 譲渡の時期

平成21年3月上旬予定

##### ⑥ 譲渡価額

2,500千ドル（日本円：2億2千5百万円）

##### ⑦ 業績に与える影響

当該子会社の株式譲渡により、1億7千2百万円の子会社整理損を特別損失として計上しております。

6. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,626,913	1,008,366
受取手形及び売掛金	3,164,425	2,989,266
製品	520,263	491,100
原材料	200,680	154,829
仕掛品	675,173	795,206
その他	229,513	190,174
貸倒引当金	△10,014	△23,190
流動資産合計	6,406,955	5,605,753
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,815,756	1,879,354
機械装置及び運搬具（純額）	1,802,470	2,050,800
土地	1,818,528	1,703,484
その他（純額）	261,377	184,321
有形固定資産合計	5,698,132	5,817,961
無形固定資産	35,613	43,633
投資その他の資産	743,165	252,561
固定資産合計	6,476,910	6,114,156
繰延資産	10,986	18,456
資産合計	12,894,853	11,738,365

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	400,458	749,762
短期借入金	2,125,629	1,406,939
未払法人税等	50,692	210,093
賞与引当金	34,635	133,390
その他	506,043	537,286
流動負債合計	3,117,459	3,037,471
固定負債		
社債	1,000,000	1,010,000
長期借入金	1,479,557	808,147
退職給付引当金	8,135	6,933
長期末払金	101,200	137,811
固定負債合計	2,588,892	1,962,892
負債合計	5,706,352	5,000,363
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,429,921	1,429,921
資本剰余金	1,192,857	1,192,857
利益剰余金	4,331,753	4,017,097
自己株式	△1,030	△971
株主資本合計	6,953,501	6,638,904
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,966	8,381
為替換算調整勘定	△72,520	△9,335
評価・換算差額等合計	△70,554	△954
少数株主持分	305,553	100,051
純資産合計	7,188,500	6,738,002
負債純資産合計	12,894,853	11,738,365

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	8,771,656
売上原価	6,860,469
売上総利益	1,911,186
販売費及び一般管理費	1,331,131
営業利益	580,054
営業外収益	
受取利息	2,461
受取配当金	359
保険解約返戻金	1,274
保険事務手数料	1,496
その他	6,573
営業外収益合計	12,165
営業外費用	
支払利息	58,660
為替差損	54,512
その他	21,989
営業外費用合計	135,163
経常利益	457,056
特別利益	
固定資産売却益	1,014
投資有価証券売却益	9,726
貸倒引当金戻入額	13,188
特別利益合計	23,929
特別損失	
固定資産売却損	738
固定資産除却損	6,660
減損損失	83,543
子会社株式売却損	39,200
子会社整理損	172,534
投資有価証券評価損	25,866
特別損失合計	328,543
税金等調整前四半期純利益	152,442
法人税、住民税及び事業税	120,127
法人税等調整額	△442,284
法人税等合計	△322,157
少数株主利益	15,116
四半期純利益	459,483

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	
売上高	2,517,055
売上原価	1,974,249
売上総利益	542,805
販売費及び一般管理費	432,540
営業利益	110,265
営業外収益	
受取利息	349
受取配当金	94
保険解約返戻金	2
保険事務手数料	496
その他	1,896
営業外収益合計	2,839
営業外費用	
支払利息	20,571
為替差損	64,670
その他	11,562
営業外費用合計	96,804
経常利益	16,300
特別利益	
固定資産売却益	2
特別利益合計	2
特別損失	
固定資産売却損	269
固定資産除却損	6,285
減損損失	2,137
子会社株式売却損	39,200
子会社整理損	172,534
投資有価証券評価損	20,093
特別損失合計	240,521
税金等調整前四半期純利益	△224,218
法人税、住民税及び事業税	△101,572
法人税等調整額	△425,222
法人税等合計	△526,794
少数株主利益	9,889
四半期純利益	292,686



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	152,442
減価償却費	474,476
減損損失	83,543
子会社整理損	172,534
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△98,755
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,201
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△13,188
受取利息及び受取配当金	△2,820
支払利息	58,660
投資有価証券売却損益 (△は益)	△9,726
投資有価証券評価損益 (△は益)	25,866
子会社株式売却損益 (△は益)	39,200
有形固定資産除却損	6,660
有形固定資産売却損益 (△は益)	738
売上債権の増減額 (△は増加)	△184,874
たな卸資産の増減額 (△は増加)	47,406
仕入債務の増減額 (△は減少)	△338,594
その他	51,162
小計	465,933
利息及び配当金の受取額	2,445
利息の支払額	△52,189
法人税等の支払額	△393,596
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,594
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△300,000
定期預金の払戻による収入	300,000
有形固定資産の取得による支出	△791,064
有形固定資産の売却による収入	2,251
投資有価証券の取得による支出	△491
投資有価証券の売却による収入	15,985
子会社株式の売却による収入	182,700
子会社株式の取得による支出	△6,888
その他	△10,125
投資活動によるキャッシュ・フロー	△607,632
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	766,049
長期借入れによる収入	1,216,000
長期借入金の返済による支出	△553,804
社債の償還による支出	△20,000
自己株式の取得による支出	△58
配当金の支払額	△141,112
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,267,074
現金及び現金同等物に係る換算差額	△63,490
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	618,546
現金及び現金同等物の期首残高	658,366
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,276,913

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	ネットシェイ プ (千円)	アッセン ブリ (千円)	フィルタ (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,421,929	2,290,357	1,059,369	8,771,656	—	8,771,656
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,421,929	2,290,357	1,059,369	8,771,656	—	8,771,656
営業利益	386,591	88,211	105,252	580,054	—	580,054

(注) 1. 事業区分の方法の変更

事業区分の方法については、従来、事業の種類・性質の類似性等の観点に基づき「金型事業」、「精密鍛造品・アッセンブリ事業」、「フィルタ事業」の3区分としておりましたが、第1四半期連結会計期間より、組織再編による事業部門の変更にあわせ、「金型事業」と「精密鍛造品・アッセンブリ事業」に含まれている精密鍛造品部門を包括し「ネットシェイプ事業」とし、全セグメントに占める割合が高くなった「アッセンブリ事業」を分離する事業区分に変更することといたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の従来「精密鍛造品・アッセンブリ事業」に含まれていた精密鍛造品部門の売上高864,172千円、営業費用813,507千円は、従来「金型事業」に包括され「ネットシェイプ事業」のそれぞれの金額に加えて表示されております。

2. 会計処理の方法の変更

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。この変更に伴い、当四半期連結累計期間は従来の方法によった場合に比べ、営業利益が、ネットシェイプ事業で40,279千円、アッセンブリ事業で1,318千円、フィルタ事業で5,900千円それぞれ減少しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	北米	ヨーロッパ	アジア	計
I 海外売上高 (千円)	363,393	47,193	744,265	1,154,853
II 連結売上高 (千円)	—	—	—	8,771,656
III 連結売上高に占める海外売上高 の割合 (%)	4.2	0.5	8.5	13.2

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米……………アメリカ合衆国
- (2) ヨーロッパ……ポルトガル、スイス
- (3) アジア……………台湾、中国、韓国、インド、シンガポール、タイ

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の日本以外の国、又は地域における売上高であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	9,271,053
II 売上原価	7,060,584
売上総利益	2,210,469
III 販売費及び一般管理費	1,368,934
営業利益	841,534
IV 営業外収益	50,556
V 営業外費用	103,116
経常利益	788,974
VI 特別利益	7,308
VII 特別損失	8,661
税金等調整前四半期純利益	787,622
法人税、住民税及び事業税	335,200
法人税等調整額	32,201
少数株主損失(△)	△7,675
四半期純利益	427,896

- (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書  
記載を省略しております。

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

記載を省略しております。

[海外売上高]

記載を省略しております。

## 7. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

### (1) 販売実績

事業別	第3四半期			当期累計	
	金額（千円）	前年同期比（%）	前四半期比（%）	金額（千円）	
				計画	実績
ネットシェイプ	1,577,356	84.6	85.3	5,555,900	5,421,929
アッセンブリ	565,093	58.7	63.1	2,460,000	2,290,357
フィルタ	374,604	127.1	104.1	1,037,400	1,059,369
合計	2,517,055	80.6	81.1	9,053,300	8,771,656

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 第1四半期連結会計期間より事業区分の方法を変更いたしました。なお、事業区分の方法の変更は、セグメント情報に記載しております。

### (2) 受注状況

事業別	第3四半期			当期累計	
	金額（千円）	前年同期比（%）	前四半期比（%）	金額（千円）	
				計画	実績
ネットシェイプ	1,181,997	57.8	67.2	4,920,000	4,785,130
アッセンブリ	520,893	45.7	75.5	2,240,000	2,058,757
フィルタ	364,702	131.7	118.7	1,060,000	1,057,289
合計	2,067,594	59.7	75.0	8,220,000	7,901,178

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 第1四半期連結会計期間より事業区分の方法を変更いたしました。なお、事業区分の方法の変更は、セグメント情報に記載しております。

3. ネットシェイプの精密鍛造品とアッセンブリの受注状況には、内示受注高を含んでおります。

### (3) 受注残高

事業別	第3四半期		
	金額（千円）	前年同期比（%）	前四半期比（%）
ネットシェイプ	892,624	58.9	69.3
アッセンブリ	629,500	55.6	93.4
フィルタ	230,102	122.5	95.9
合計	1,752,226	61.8	79.6

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 第1四半期連結会計期間より事業区分の方法を変更いたしました。なお、事業区分の方法の変更は、セグメント情報に記載しております。

3. ネットシェイプの精密鍛造品とアッセンブリの受注残高には、内示受注高を含んでおります。